

令和4年度老人保健健康増進等事業

＜都道府県による市町村支援に活用するための支援パッケージ策定に係る調査研究＞

＜株式会社TRAPE＞

地域包括ケアシステムの実現に向けて、各市町村がその実情に応じて地域づくりを進めることが必要だが、都道府県・地方厚生（支）局においてはその市町村の活動を効果的・効率的に支援する役割が求められている。厚生労働省では令和4年度より地域づくり加速化事業を開始し、支援者である都道府県・地方厚生（支）局とともに支援チームを組成して、モデル市町村の地域づくりを後押ししている。

本事業では、この地域づくり加速化事業と密接に連携を取りながら、今後の都道府県・地方厚生（支）局による市町村支援の指針となり得る支援パッケージを策定することを目的とした。

＜本事業での実施内容＞

1. 厚生労働省原課との協議及び地域づくり加速化事業との連携
2. 先行調査研究・事業のレビュー
3. 支援パッケージ試行版の作成
4. 支援パッケージ試行版に関するアンケートの実施
5. 有識者・市町村・都道府県・地方厚生局へのヒアリングの実施
6. ヒアリング結果等を踏まえた支援パッケージの作成

＜本事業の成果物＞

「地域づくり支援ハンドブック vol.1」を作成。主なねらい・構成は以下のとおり。

“高齢者の可能性”を共通理解としたうえで、地域支援事業を「わがまちの高齢者が自分らしく暮らし続けることができる地域づくり」という目的のためのツールと位置づけ、地域の変容に応じて常に見直しが必要であること、担い手や資源が限られるなか地域の関係者と強みを持ち寄り共創することが必要なこと、市町村は関係者をまとめ導いていく指揮者的な役割を担うこと等を本質として理解していただき、市町村には自律した地域づくりを、支援者である都道府県・地方厚生（支）局にはそのための伴走支援を推進していただけることを本ハンドブックのねらいとした。

総論・総合事業の見直しプロセス・各論の三部構成。総論では地域づくりの軸となる本質的な視点に加え、支援者が持つべき視点や実際の対話イメージなどを掲載。総合事業の見直しプロセスでは、STEP 1～7の問いにより仮説と検証を繰り返しながら、総合事業の見直しを進める実践手法やそのためのデータ活用の視点を紹介。各論では多くの市町村が課題を抱える5つのテーマについて、よくある問いをもとに大事な視点を解説するとともに、単なるQ&Aとならないよう問いかけ例を示し、支援者と市町村とが対話を深めながら地域づくりを進めるためのツールとして活用できるような構成とした。